事業者向け

放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	75%	25%	0%	十分だと感じているが日によっては少し狭く 感じる時もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	13%	13%	十分である。 日によって足りていないと感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	75%	13%	13%	十分バリアフリー化出来ていると思う 車いすが通るには少し狭い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	88%	0%	13%	振り返りは行えている。 日によって出来ていない時がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	保護者様からの意見や要望等を職員と共有し 改善に向けて話し合い、実行している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25%	75%	0%	よく分からない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	63%	38%	0%	外部評価を行っている。 業務改善につなげれるよう努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	100%	0%	0%	定期的に研修を行い、共有している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	63%	38%	0%	毎月更新児童を把握・共有し、課題等を職員 同士で話し合って計画書の作成を行ってい る。
\ \	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している か	63%	38%	0%	アセスメントツールを使っているかよくわからない。 出来ていると思う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている か	63%	38%	0%	毎月様々な活動を取り入れるよう話し合いをしている。
適切な	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	75%	25%	0%	を行い、色々な活動を取り入れるよう工夫し 本しるりの際にての日のスケフェールを戦 員
支援	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	63%	38%	0%	全体で周知できるようにしている。 サービスの関係で参加できていない日があ
の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計 画を作成しているか	63%	38%	0%	個別・集団を臨機応変に使い分けている。時間や状況によって対応出来ていない児童もいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	申し送りを毎日行っている。 サービスの関係で参加できていない日がある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有しているか	13%	75%	13%	その日のうちには振り返りが出来ていない。 翌日申し送りの際に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13%	75%	13%	よく分からないが、出来ていると思う。

定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ	
18 サービス計画の見直しの必要性を判断してい 75% 25% 0% こなっている。	養者への聞き取りを定期的にお
るか	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか 38% 63% 0% 複数組み合わせ	せているのかよく分からない。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議	管理者が出席しているため、分からない。
20 にその子どもの状況に精通した最もふさわし 50% 50% 0% 管理者が出席し	
い者が参画しているか	
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の	学校送迎時に先生からその日の様子等を教え て頂いている。
21 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調 100% 0% 9校送迎時に5	
を適切に行っているか	
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 現時点では医療	療的な行為が必要な子がいない!
22 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい 38% 63% 0% と思う。	
関えるかとなっています。	必要なのかどうか分からない。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 出来ていると思	
	里解できるようにしていければ
おサケトれ互理般に奴はているか	
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所	ういった子は少ないが、今後増
┃ ` ┃ 。 	
┃ ┗ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	うから今の段階からしていきた
護事しているかり	
	ニーフ・、フ・ボーガルター」+ 会切って
▮と 25 ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受 63% 38% 0%	テっているが、研修には参加で ! - : - ?
のけているか	している。
連 対理後日帝クラブや日帝館との交流や 障害 近くの公園に行	_{行った} 際にできていると思う。
26	等でできていないから増やして
携 のない子どもと活動する機会があるか	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し 50% 38% 13% 積極的には参加	叩できていない。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
┃ ┃ 28 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ┃ 75% ┃ 25% ┃ 0% ┃	
を持っているか	羨子を伺っている。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護	か分からないが、今後は増やし
29 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 38% 63% 0% ていきたい。	
を行っているか	
護りの運営規程、支援の内容、利用者負担等についりのようには、	
	や契約の際に行っている。
へ	
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に	
┃ ┃ 31 ┃適切に応じ、必要な助言と支援を行っている ┃ 13% ┃ 88% ┃ 0% ┃	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
明 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 会はコロナ等の	の関係でできていないが、今後
【 5 │ 32 │開催する等により、保護者同士の連携を支援 │ 13% │ 75% │ 13% │ # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 #	れば行っていきたい。
任 しているか 落ち着いてくれ	いは1] フ ていさ たい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	25%	0%	苦情が入った際には迅速に対応している。 どのような苦情が入っているのか具体的には 分からない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	63%	38%	0%	毎日連絡帳の作成、配布を行っている。 時間の関係等で当日配布できなくても後日必 ず配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人情報の管理を徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	本設有の力とは必座時にコミューケーノョア をとり、変わったことがないか等聞き取りを フレス
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか	38%	63%	0%	コロナの関係等でできていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	63%	38%	0%	職員には各々のマニュアルを周知している。 保護者に周知出来ているか分からない。
非	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか	88%	13%	0%	避難訓練を定期的に行い、災害に備えて迅速 な対応が出来るようにしている。
常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	88%	13%	0%	委員会の設置や各職員研修への参加をしている。
等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	現時点で身体拘束が必要な子はいないが、今 後あった際等に適切な対応が出来るようにし ていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	63%	38%	0%	契約時等にアレルギーの確認・周知を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	88%	13%	0%	研修等で実際に起きた事例として共有している。